



令和元年5月8日

各 位

会 社 名 N K K ス イ ヅ チ ズ 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 大 橋 智 成
(J A S D A Q ・ コ ー ド 6 9 4 3)
問 合 せ 先 取 締 役 塚 正 勉
電 話 0 4 4 - 8 1 3 - 8 0 2 6

通期業績予想と実績との差異に関するお知らせ 及び剰余金の配当に関するお知らせ

平成 31 年 2 月 4 日に公表いたしました平成 31 年 3 月期の通期連結業績予想と本日公表の実績において、下記の通り差異が生じたので、お知らせいたします。

また、本日開催の取締役会において、平成 31 年 3 月期の期末配当について、令和元年 6 月 27 日開催の第 66 期定時株主総会に下記の通り付議することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 通期業績予想と実績との差異について

(1) 平成 31 年 3 月期通期連結業績予想との差異（平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 7,800	百万円 40	百万円 150	百万円 5	円 銭 6.07
実績値 (B)	7,664	△335	△294	△467	△568.03
増減額 (B-A)	△135	△375	△444	△472	—
増減率 (%)	△1.7	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 30 年 3 月期)	7,726	254	268	217	264.81

(2) 差異の理由

当連結会計年度の連結業績につきましては、貿易摩擦の激化等により想定した以上に市場環境が減速したことで売上高は前回予想を下回りました。利益面につきましては、売上高減少による粗利額の減少、収益力強化に向けた対策の一環として、棚卸資産の見直しを行ったことによる評価損・廃棄損等（135 百万円）の計上、中国子会社設立準備に伴う諸経費の増加等（103 百万円）により営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は前回予想を大きく下回ることとなりました。

2. 剰余金の配当について

(1) 平成31年3月期期末配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (平成31年2月4日発表)	前期実績 (平成31年3月期)
基準日	平成31年3月31日	平成31年3月31日	平成30年3月31日
1株当たり配当金	40円00銭	50円00銭	50円00銭
配当金の総額	32,918千円	—	41,151千円
効力発生日	令和元年6月28日	—	平成30年6月29日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

(2) 理由

当社は、利益配分につきましては株主の皆様に対する利益還元を重要な経営課題と位置づけており、収益の状況及び将来の事業展開等を勘案して安定的な配当の継続を行うことを基本方針としております。こうした基本方針のところ、誠に遺憾ではございますが、本日発表の平成31年3月期通期連結業績を踏まえ、前回公表において50円00銭としていました期末配当を10円減配の1株当たり40円00銭とさせていただきます。これにより年間の配当額は1株当たり90円00銭となる予定です。

以 上